

三菱電機グループ保険

がんの補償(がん診断一時金)のご案内!! (団体総合生活保険)※1

働く人の**7人に1人**が「**がん患者**」といわれています。※2
「がん」はすべての人に身近な病気です。しっかりと備えておく必要があります。

がんについて不安に思うこと

自分にもがんにかかる
リスクはあるのだろうか?

どんな備えが
必要なのだろうか?

経済面の
安心感がほしい

治療にはいくら費用が
かかるのだろうか?

がん罹患後も今までどおりの
収入を得られるのだろうか?



→ 「がん」について一緒に考えてみませんか?

がんの補償(がん診断一時金)の特徴

① がんの補償(がん診断一時金)に
“**単独で加入**”できます!

100万円
(2口)

50万円
(1口)

② **補償開始日からお支払い**します!
(待機期間はありません)

③ 再発・転移・新たな悪性新生物の場合、
何回でもお支払いします!

*支払事由に該当した最終の診断確定日からその日を含めて1年以内であるときは、がん診断保険金をお支払いできません。

④ **がん患者申出療養特約付き!**
(技術料1,000万円限度)

⑤ 従業員本人だけでなく、
従業員のご家族も**加入**できます!

*対象となるご家族は、配偶者・子供・両親・兄弟姉妹・本人と同居の親族(詳細は総合パンフレットP25をご確認ください。)

⑥ 三菱電機グループのスケールメリットで
割安な保険料(47.5%割引)!

年齢/保険金額	100万円(2口)	50万円(1口)
30歳	170円	90円
45歳	480円	250円

*団体割引30%、損害率による割引25%を適用した月払保険料

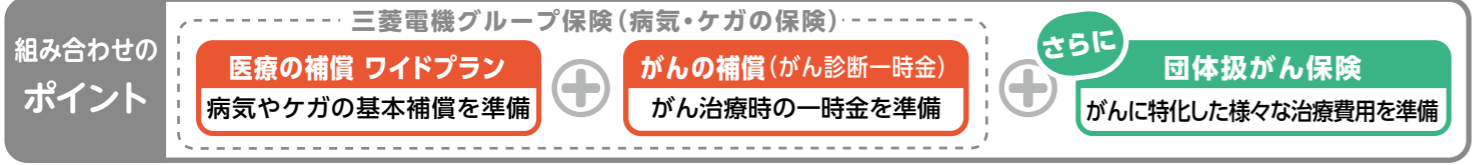
※1 引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社

※2 出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計(全国がん登録)」(2019年)を参考に作成

病気・ケガの保険 医療の補償とがんの補償(がん診断一時金)の組み合わせ例

“**病気・ケガの保険 医療の補償**”をベースに、“**がんの補償(がん診断一時金)**”と“**団体扱がん保険**”を組み合わせることで**手厚い保障(補償)**を準備できます！

三菱電機保険サービス(株)では、アフラックと東京海上日動あんしん生命保険の終身保障のがん保険を取り扱っていますので、加入を希望の場合には最寄りの三菱電機保険サービス(株)までご連絡ください。



医療の補償 ワイドプラン (補償内容・保険金額)		
三大疾病・重度傷害一時金	がんと診断確定された場合 重度入院 ^{※6} した場合	50万円
入院 1回の入院 ^{※1} につき 60日限度	がんを含む生活習慣病 ^{※7} (成人病入院保険金)	10,000円
	上記以外の病気やケガ (疾病・傷害入院保険金)	5,000円
通院	病気での退院後通院 (退院後通院保険金)	3,000円
	ケガでの通院 (傷害補償通院保険金)	
手術 ^{※2}	重大手術 ^{※8} 入院中：5万円 入院中以外：2.5万円	20万円 5万円 2.5万円
	がんを含む生活習慣病 ^{※7} の場合、上記に加えて (成人病手術保険金)	
総合先進医療 ^{※3}	病気やケガによる先進医療 (総合先進医療保険金)	技術料：1,000万円限度 一時金：10万円
放射線治療 ^{※4}	がんを含む生活習慣病 ^{※7} (成人病放射線治療保険金)	10万円
	上記以外の病気やケガ (放射線治療保険金)	5万円
特定疾患 ^{※5}	特定疾患での入院	15万円
葬祭費用	病気やケガで死亡し、親族が 葬祭費用を負担した場合	50万円限度

月払保険料 ^{※9}		
年齢	生年月日	医療の補償 ワイドプラン
0-4歳	H31.1.2 ~ R 6.1.1生	1,250円
5-9歳	H26.1.2 ~ H31.1.1生	1,150円
10-14歳	H21.1.2 ~ H26.1.1生	1,130円
15-19歳	H16.1.2 ~ H21.1.1生	1,170円
20-24歳	H11.1.2 ~ H16.1.1生	1,290円
25-29歳	H 6.1.2 ~ H11.1.1生	1,350円
30-34歳	S64.1.2 ~ H 6.1.1生	1,410円
35-39歳	S59.1.2 ~ S64.1.1生	1,510円
40-44歳	S54.1.2 ~ S59.1.1生	1,690円
45-49歳	S49.1.2 ~ S54.1.1生	2,090円
50-54歳	S44.1.2 ~ S49.1.1生	2,660円
55-59歳	S39.1.2 ~ S44.1.1生	3,490円
60-64歳	S34.1.2 ~ S39.1.1生	4,720円
65-69歳	S29.1.2 ~ S34.1.1生	6,430円

*保険料は保険始期(毎年1月1日)時点の年齢で毎年見直しされ新規加入は69才までです。70才以上の保険料は総合パンフレットP14、P19をご確認ください。

※1 1回の入院については入院から退院及び退院後に入院の原因となった身体障害(医学上重要な関係がある身体障害を含みます)による180日以内の再入院までが1回の入院となります。 ※2 公的医療保険制度の給付対象である手術全般。(ただし、傷の処置、切開術(皮膚、鼓膜)、抜歯等お支払いの対象外の手術があります。また、時期を同じくして「[時期を同じくして]」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。)2種類以上の手術を受けた場合には、いずれか1種類の手術についてのみ保険金をお支払いします。 ※3 対象となる先進医療については総合パンフレットP28をご確認ください。 ※4 血液照射を除きます。複数回受けた場合は、施術の開始日から、60日の間に1回の支払いを限度とします。 ※5 特定疾患とは、平成21年10月30日健発1030第3号厚生労働省健康局長通知「特定疾患治療研究事業について」の一部改正についてで別紙「特定疾患治療研究事業実施要綱」第3「対象疾患」の別表1に記載されている56疾患となります。56疾患については総合パンフレットP28をご確認ください。 ※6 急性心筋梗塞・脳卒中や脳挫傷・脊髄損傷・内臓損傷の大ケガによる入院 ※7 生活習慣病(成人病)とは、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、高血圧性疾患、糖尿病となります。 ※8 「重大手術」とは以下の手術をいいます。ただし、腹腔鏡・胸腔鏡・穿頭は除きます。「重大手術の支払倍率変更に関する特約」が自動セットされています。 ①がんに対する開頭・開胸・開腹手術および四肢切断術 ②脊髄腫瘍摘出術、頭蓋内腫瘍開頭摘出術、縦隔腫瘍開胸摘出術 ③心臓・大動脈・大静脈・肺動脈・冠動脈への開胸・開腹術 ④日本国内で行われた、心臓・肺・肝臓・脾臓・腎臓の全体または一部の移植手術 ※9 保険料は、被保険者(保険の対象となる方)の年齢(2024年1月1日における満年齢)によって異なります。

がんの補償(補償内容・保険金額)	
がん診断一時金	
100万円 (2口)	50万円 (1口)
・初めて「がん」と診断されたとき ・既に診断確定された「がん」が一旦治癒した後、再発。転移したとき ・原発がんとは別に新たに「がん」が生じたとき	
がん患者申出療養保険金	
技術料1,000万円限度	
がんと診断確定され、その治療のため、保険期間中に患者申出療養を受けられた場合	
患者申出療養とは 未承認薬などをいち早く使いたい。 対象外になっているけれど治験を受けたい。 そんな患者さんたちの思いに応えるために つくられた制度です。 例えば、 ・既に実施されている先進医療を身近な病院で実施することを希望する患者に対する療養 ・先進医療の実施計画(適格基準)対象外の患者に対する療養 ・先進医療として実施されていない療養	

がんの補償(がん診断一時金)		
	100万(2口)	50万(1口)
	80円	40円
	90円	50円
	130円	70円
	100円	60円
	60円	30円
	110円	60円
	170円	90円
	240円	130円
	350円	180円
	480円	250円
	780円	400円
	1,220円	610円
	1,770円	890円
	2,350円	1,180円

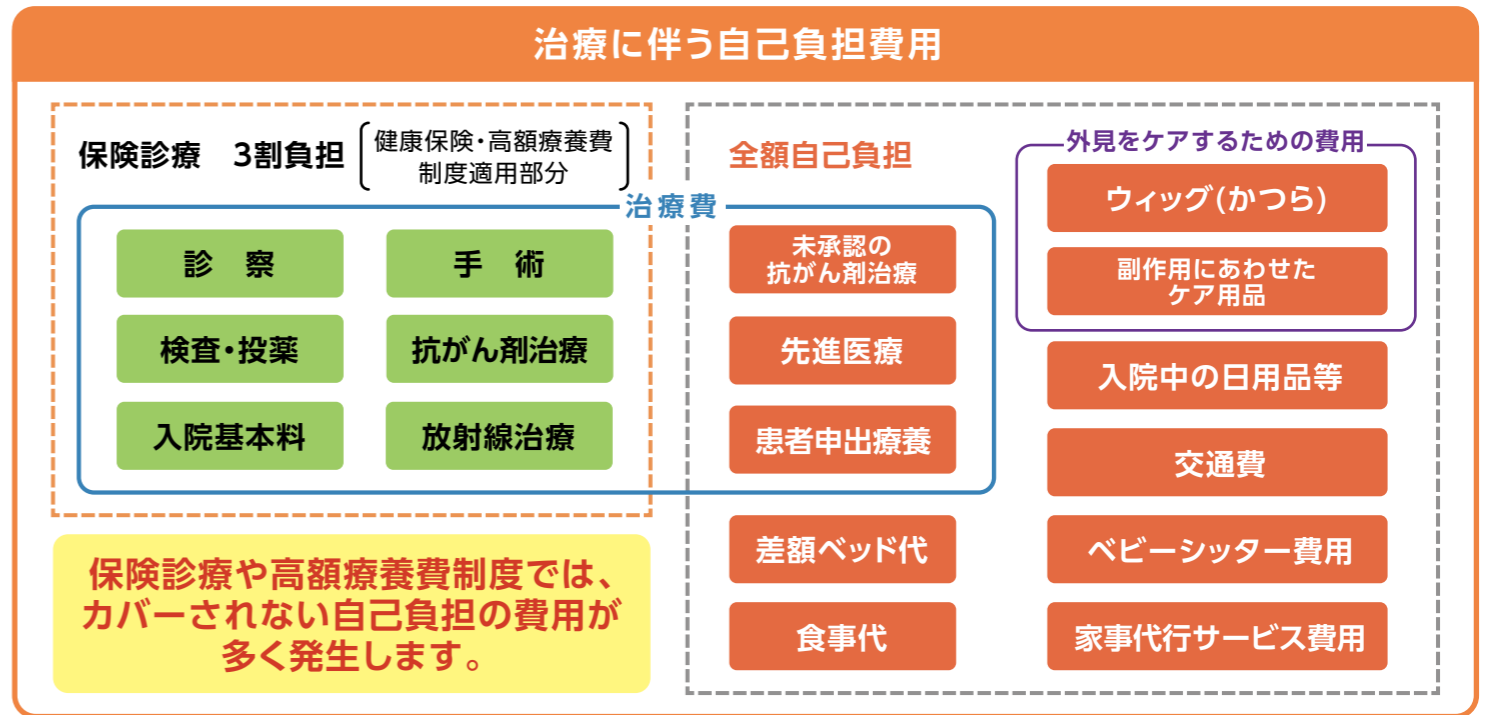
がん罹患時の経済的負担

「がん」は病状や治療内容によっては**治療が長期にわたることがあり、また、再発の可能性**があるため、**他の病気に比べ費用が高くなる可能性**があります。十分な補償(保障)を備えておくことで、治療の選択肢が広がります。

①入院に係る費用			
【例1】	胃がんで22日間入院	【例2】	乳がんで15日間入院(女性)
健康保険対象医療費	1,215,698円	健康保険対象医療費	996,795円
自己負担額		自己負担額	
医療費の自己負担額(3割) ^{※1}	167,017円	医療費の自己負担額(3割) ^{※1}	164,828円
食事自己負担	28,980円	食事自己負担	19,320円
差額ベッド代	145,486円	差額ベッド代	99,195円
自己負担額合計	341,483円	自己負担額合計	283,343円
※1 高額療養費制度を利用後の金額(70歳未満、年収約370万円~約770万円の場合)、月またぎの入院として計算 出典:厚生労働省「医療給付実態調査(令和2年度)」[令和2年患者調査][第528回 中央社会保険医療協議会 主な選定療養に係る報告状況(令和3年7月1日現在)]を参考に作成			

②通院に係る費用	
長期にわたる通院治療	…がんの進行度(種類・部位)によっては数年間の治療期間を要することも珍しくありません！
平均費用(自己負担額)	通院1回につき 約12,100円 *平均25日間隔で通院治療を行います。 → 毎月1~2万円かかります。
さらに、	・ご自身の交通費 ・付き添う家族の交通費 など
	*抗がん剤治療の副作用による倦怠感などで タクシーを使うことも考えられます！
出典:厚生労働省「医療給付実態調査(令和2年度)」[令和2年患者調査]を参考に作成	

*保険外診療を受けた場合や治療方法により、費用が大きく変わる可能性があります。上記は一例であり、再発や転移等の場合を考慮していません。



アフラック



特長

「入院」も「通院^(※1)」も日数無制限で保障

(※1)三大治療(手術・放射線治療(電磁波温熱療法含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)のための通院や、所定の通院期間中(365日以内)の通院は日数無制限

診断保障充実プラン

入院給付金日額 10,000円

保険期間:終身(がん特定治療保障特約は10年更新)

がん保険には保障の開始まで待ち期間(保障されない期間)があります。

基本保障	診断 給付金	がん	一時金として 50万円	上皮内 新生物	5万円
	入院 給付金	1日につき	10,000円		
	通院 給付金	1日につき	10,000円		
オプション	治療 給付金	所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療・緩和療養を受けたとき			
	診断給付金複数回支払特約 [2018]	特約給付金額50万円の場合	1回につき	がん	50万円
	複数回診断 給付金	1回につき	上皮内新生物	5万円	
	がん特定治療保障特約	がん診療連携拠点病院等において、公的医療保険制度の対象とならない所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療を受けたとき			
	特定保険外診療 給付金 ^{*1}	受けた月ごと	50万円		
	がんゲノムプロファイリング検査 給付金 ^{*1}	受けた月ごと	10万円		

月払保険料例 [団体取扱]

上記プラン <診断給付金複数回支払特約>特約給付金額50万円、<がん特定治療保障特約>付き
解約払戻金なしタイプ 定額タイプ 保険料払込期間:終身(がん特定治療保障特約は10年) <特定保険料払込免除特約>なし

ご契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳
男性	2,217円	2,598円	3,030円	3,605円	4,314円	5,240円	6,371円	7,783円	9,679円
女性	2,290円	2,631円	3,063円	3,564円	4,096円	4,636円	5,056円	5,590円	6,235円

※ <がん特定治療保障特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

特約を付加することで保障を強化できます！

がん要精検後精密検査保障特約	特定診断給付金特約 ^{*1}	がん先進医療・患者申出療養特約 ^{*1}
外見ケア特約 ^{*1}	特定保険料払込免除特約 ^{*1}	

○「先進医療」および「患者申出療養」は、厚生労働大臣が認める医療技術です。これらは医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状など)および実施する医療機関が限定されています。また、医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。 ※アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する先進医療の特約は、被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。 ※特約のみご契約はできません。 ※記載のない年齢・特約の保険料については募集代理店までお問合せください。 ◎詳しくは、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。(記載の保障内容・保険料などは2023年8月現在のものです。) *1 上皮内新生物は支払対象外です。

東京海上日動あんしん生命

がん保険
がん治療保険
[無配当]

特長

公的医療保険制度の対象となるがんの3大治療(手術・放射線治療・抗がん剤治療)や所定の緩和療養を受けられたとき、治療を受けた月ごとに給付金をお受け取りいただけます。また、患者申出療養・対象病院での所定の自由診療等を受けられたとき、通算1億円を限度に保障する特約(がん特定治療保障特約)がおすすめです。

がん治療保険(無解約返戻金型) [無配当]

がん特定治療保障特約(保険期間払込期間:5年 更新型^{*1})、がん診断特約、がん入院特約、がん通院特約

保険期間:保険料払込期間:終身

基本保障	手術・放射線治療 給付金 抗がん剤治療・緩和療養 給付金	お支払事由に該当した月ごと ^{*2, *3, *4}	給付金月額 10万円
	公的医療保険制度の対象となるがんの3大治療(手術・放射線治療・抗がん剤治療)や所定の緩和療養を受けられたとき		手術・放射線治療給付金はお支払月数無制限 抗がん剤治療・緩和療養給付金は通算60か月まで
オプション	がん特定治療保障特約	通算1億円限度	診療にかかわる費用と同額
	特定治療 給付金	がん治療のため、患者申出療養や評価療養(先進医療除く)、または対象病院で所定の自由診療を受けられたとき	「患者申出療養」「評価療養」「自由診療」についてはパンフレットでご確認ください。
	がん診断特約	回数無制限 2年に1回を限度	50万円
	初めてがん(悪性新生物・上皮内新生物)と診断確定されたとき また、がん(悪性新生物)が再発・転移したとき	*上皮内新生物に対する診断給付金のお支払いは保険期間を通じて1回限り	
がん入院特約	入院 給付金	支払日数無制限	1日につき 10,000円
がん治療のため、入院をされたとき			
がん通院特約	通院 給付金	支払日数無制限	1日につき 10,000円
がん治療のため、所定の期間中 ^{*1} に通院をされたとき		*所定の期間中とは、「主契約のお支払事由に該当した日の属する月の前々月の初日」から「お支払事由に該当した日の属する月の1年後の応当月の末日」までをいいます。	

月払保険料例 [団体扱A] *会社によって団体扱の適用可否が異なりますので、福祉担当部門にご確認ください。

2023年5月現在

ご契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳
男性	3,452円	3,764円	4,187円	4,690円	5,304円	6,284円	7,463円	8,731円	10,392円
女性	3,436円	3,646円	3,876円	4,106円	4,346円	4,660円	4,987円	5,386円	5,855円

特約を付加することで保障を強化できます！

保険料払込免除 ^{*5} 悪性新生物保険料払込免除特約	先進医療給付金 がん先進医療特約	悪性新生物初回診断保険金 悪性新生物初回診断特約
---	---------------------	-----------------------------

◎保険期間の始期からその日を含めて90日を経過した日の翌日を責任開始期とします。 ◎被保険者が責任開始期の前日までにがんと診断確定された場合は保険契約者・被保険者・給付受取人がその事実を知っているといないに関わらず、ご契約は無効となり、給付金をお支払することはできません。 ●この商品には、死亡または高度障害に対する保険金はありません。(被保険者の死亡時に解約返戻金があるときは、解約返戻金と同額の返戻金をお支払します。) ●この商品の解約返戻金は、まったくないか、あってもお支払保険料の合計額に比べ、ごくわずかな額となります。 ●給付金をお支払できない場合があります。詳細は「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 ●このご案内は商品の概要をご説明しています。詳細につきましては、パンフレット・重要事項説明書(契約概要/注意喚起情報)・ご契約のしおり・約款を必ずご覧ください。 *1 最長90歳まで自動更新が可能です。更新後保険料は、更新時の被保険者の年齢および保険料率によって計算しますので、更新前の保険料と異なります。 *2 手術・放射線治療給付金のお支払対象となる治療を同一の月に複数回受けたときでも、手術・放射線治療給付金は重複してお支払いしません。 *3 抗がん剤治療・緩和療養給付金のお支払対象となる治療や療養を同一の月に複数回受けたときでも、抗がん剤治療・緩和療養給付金は重複してお支払いしません。 *4 同一の月に手術・放射線治療給付金および抗がん剤治療・緩和療養給付金のお支払事由に該当した場合には、手術・放射線治療給付金のみをお支払いし、抗がん剤治療・緩和療養給付金はお支払いしません。 *5 がん(悪性新生物)と診断確定されたとき、将来の保険料はいただきません。(上皮内新生物は対象外です。) *6 がんの診断確定は、病理組織学的所見により医師によってなされている必要があります。ただし、病理組織学的所見が得られない場合、その他の所見を認めることがあります。

がんのはなし

がんの罹患傾向について

●男女別の傾向

男性は、全年代において大腸がんの罹患率が高くなっていますが、若いうちは、白血病・悪性リンパ腫といったものになりやすく、加齢とともに胃がんや前立腺がんの罹患率が高くなる傾向にあります。

女性は、若いうちから子宮がん・卵巣がんや甲状腺がんといったものになりやすく、さらに、加齢とともに乳がんや大腸がんの罹患率が高くなる傾向にあります。

年代によって罹患しやすいがんが変わっていきます。

→ **各年代でがんに罹患するリスクがあります**

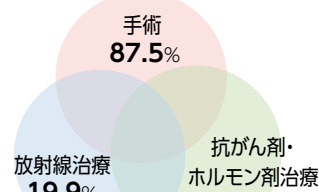
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計(全国がん登録)」(2019年)

がんの治療について

●がんの三大治療

9割以上のがん治療経験者が三大治療のいずれかを受けています。

「三大治療いずれかの経験あり」のうち治療別の割合

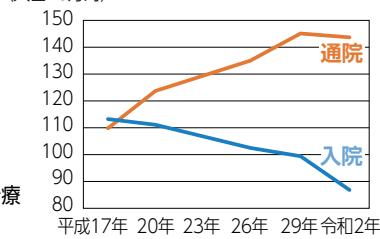


出典：がん患者およびその家族へのアンケート調査(2022年5月アフラック実施)

●治療方法の変化

通院治療(抗がん剤・ホルモン剤治療、放射線治療等)が増えています。

がん(悪性新生物)の外来受療率、入院受療率の推移



出典：厚生労働省「患者調査(平成17、20、23、26、29、令和2年)」
*平成23年の数値は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値

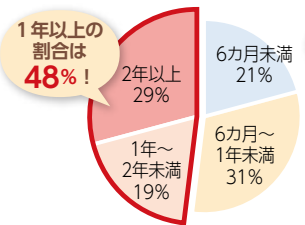
三大治療のいずれかを単独あるいは組み合わせで治療を行います。

→ **入院治療だけでなく通院治療にも備えることが大切です。**

抗がん剤・ホルモン剤治療を受けた場合について

●平均治療期間

平均20.8ヵ月と長期にわたります。長期化するほど治療費がかかります！



●治療期間別の費用総額

1年以上続くと、平均は133万円！



→ **治療が長期にわたると、経済的な負担が大きくなります！**

出典：「がん治療に関する調査」東京海上日動あんしん生命調べ(2021年1月)

がんの原因と早期発見

●がんの主な原因

喫煙 飲酒 食生活の乱れ 肥満 運動不足 感染

生活習慣に係る原因が多くあります。

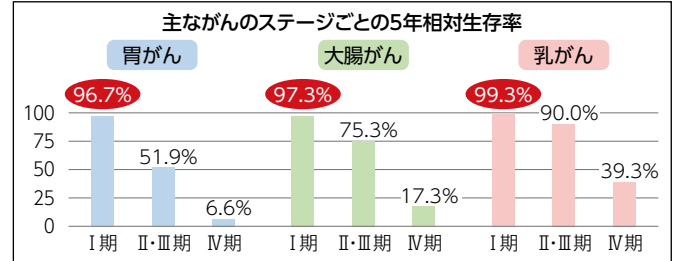
→ **日々の生活習慣を見直してみましょう！**

●がんの早期発見

早期発見・早期治療により、がんは治る時代になってきています。

定期的にかん検診を受けましょう。

→ **早期発見ががん治療の鍵となります。**



出典：国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告」(2020)、独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」(平成22年度報告書)

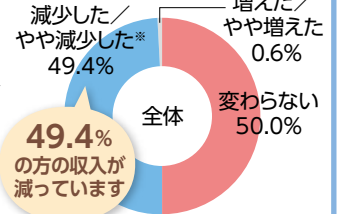
治療と仕事の両立について

●がん治療中の収入の変化

抗がん剤治療の副作用により体調不良の日が多くなり、今までどおりのペースでの仕事が困難となる場合があります。

→ **収入と支出のバランスが悪化します。(収入減に加え、治療費も必要)**

出典：「がん患者およびその家族へのアンケート調査」(2022年5月アフラック実施)



「わからない・答えたくない」は対象外 ※無収入の期間があった場合を含む

先進医療について

●先進医療の費用は全額自己負担！

先進医療とは、厚生労働大臣が定める高度の医療技術で、公的医療保険の対象になっていないものの有効性や安全性については一定基準を満たしたものの。

<例：重粒子線治療>

1件あたりの平均費用(技術料) 約316万円

費用が全額自己負担となり、高額化する場合があります。

→ **「病気・ケガの保険」では、「医療の補償」すべてに「総合先進医療特約」を付帯しています。**

出典：厚生労働省 第117回先進医療会議「【先進医療A】令和4年6月30日時点における先進医療に係る費用 令和4年度実績報告(令和3年7月1日～令和4年6月30日)」を参考に作成

がんへの備え

組み合わせるともっと安心！

がんには備えるには・・・

“病気・ケガの保険「医療の補償」に「がんの補償(がん診断一時金)」と“**団体扱がん保険**”を組み合わせることでさらに補償(保障)が充実します！

がんの補償
(がん診断一時金)

団体扱
がん保険

医療の補償

病気・ケガの保険



このパンフレットは各保険、団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」「契約概要」等をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、総合パンフレット等記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

募集代理店	●三菱電機保険サービス株式会社	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル	03-5219-5550(代表)
引受保険会社	●東京海上日動火災保険株式会社	〒100-8050	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー	
	●東京海上日動あんしん生命保険株式会社	〒100-0004	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー	
	●アフラック 広域法人営業部	〒100-0005	東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階	03-6374-1425